

よき運命を築く

放し方、ほなさげ方の鮮やかな人になる、

サラサラと流れる滞りとどまるのない明るく心、これが

よき運命を築いていく道である

## 本当の守り

自分を自分で守ることは本当の守りにはならず  
他人から尊敬される、感謝される、くまえられる  
これが本当の安らかな守りとなる

# 人生の幸せ

健康・財産・地位：これは表面のめぐみである、  
心魂：これがかくれたその人の根である、心の根を  
強め伸ばすこと、これが幸せの基本となる

# 心の光

我々は暗い世相にとられて自らの心まで暗くし  
てはならない、自らの心に明るさを持ち、心の光を  
育てることを心掛けていきたい

# 徳分

人間に一番大切なものは徳分である  
よく働く、人を喜ばせる、わがままをしない  
魂に徳分が多いほどよい運命に守られる

明るさに勝つ暗さなし、  
魂に光を、心に糧かてを、

子孫の伸び栄える道

人間の運命の根は心である、その心の根となるもの  
それは親である、親の心を伸ばし、苦しみをひきうける  
そこに子孫の伸び栄える道がある

# 節ふしから芽を出す

災難に出会ってやけになる人がある、これは災難の上塗りである、あつて災難がすんだ、修養・反省の時ができた、こう思う人は節ふしから芽を出して繁さかる人である

# 苦難を喜ぶ

批判して貰うから考える、根難に打ち当るから工夫する、反対があるから油断がでない、自らを磨きたいから苦難を喜ぶ他はない

世を拓くもの

自分の意見がいつでも正しいとはいえない、相対立  
する意見の中に尊厳を見出すゆとり・英知。  
これが人間の世を拓く、対立する相手を生かす、  
許す、そこに自分の生きる道がある。

お嫁さんの悩みに答えて

どんなに大変でも貴方の居場所は嫁家です、  
ご主人とお姑さんの間に入り、身も削られるような鍛えの  
場所で自分を磨いてきて下さい  
人間は、いかに楽に、いかに生きるかを考えるより、「いかに磨くか、  
鍛えるかに焦点を合わせるべきです」  
それが将来の幸せと、良き運命につながっていくものと  
信じています

# 疲れなき人生

なるほどウムそうだと感心する、人の話にとけ  
込む自らを空からにする時不思議に疲れが  
出てこない

親しみにまよふる力はない

他人から尊敬される感謝されるこれが親し  
みにかわる尊敬と感謝は骨身惜しまぬ  
親切から生まれる

大事な人(親・夫・妻・子供)への感謝の心がわか  
ないというのはね、それは、つくし方がたりないという  
ことだよつくし方・くまげ方・自分をしぼりただけ感  
謝の心がわき上がってくる

## 夫婦道

夫婦道とはいかに我生きるかではないかに  
相手を生かすかにある

生かす方、喜ばせ方、この一点に全身全霊  
を向けることが結果として夫婦一和にお  
どり出る道である

現在を堂々と

昨日はどんなに呼んでも再び帰つてはこない  
現在を堂々と生きる以外に過去の暗さを  
消す道はない

袖そですりあうも多少の縁えんというだらう

同じ職場・同じ家庭に一緒にいるという事は、  
よほど縁が深いという事だよ

もしやな人が出てきたら、その人は自分の前生の  
悪因縁を切ってくれる恩人だと思えというだらう

忘れたがよい

雑事を忘れなかつたら、大切なことが入らない  
だからあまりくだらないことは早く忘れた方がいい  
頭の中は常にぐわやかにゆとりを持つべきである

## 自らの光を

人が出世する幸せになる それをうらやむ  
相手の光がまぶしい間は自分の光が貧弱な  
証拠である、他人の光を消すことよりも自分の  
光を強める生き方、これが幸福の基もととなる

## 子に残すもの

才一に子に残してやるもの、それは親の生きてきた  
生き方、考え方である、生き方がよければ、それが  
徳になり、悪ければ不徳の種たねになる、この種たねが子孫の  
運命、性格に深くかかわって、その子の運命を  
支配して行くのです

ふしぎに運のよい人がある

晩年になるほど栄えていく

その家は代々親を大切にいたる家に多い

親を天地のご名代みなしろだいにと考へ兄弟姉妹いたわりあひ親族  
親み合ふ、これが祖先への最高のお供えである

天地の理法に合わせて商売すれば  
この世の中でゆきづまる会社は一つもないよ

（会社として、社会のため人のため  
お役にたつ心を忘れてはいけないうよ）

## 心の消化

どんなに糧かてをとつても、消化が大切である

心の糧かても消化が、聖者の教えを知るだけ  
では、単なる物識ものしりにすぎない

頭のよい人より心の豊かな人でありたい

# 争いを生む心

それは自己に囚とらわれ過ぎる心である

自分の責任は忘れやすい人の責任はやたらに責める相手の立場を理解するゆとりを持たない  
これが争いを生む心である

過ちを許す

人の過ちをだまらうて許す時、心はうれしみに  
充たされる、やたらに叱りつけた時、なにか  
淋しい、やるせなさが残る

## わが運命

自分の運命は、自分の魂が生み出した子供である、  
それが嫌な苦しいことであっても、自分が生み出した  
わが子である、親しみいたわり、我々は自分の運命  
を抱きかかえる心にならねばならぬと思ふ

頼りになるもの

金より頼りになるもの、それはよい運命である、  
運が悪くなつたらどんな高い地位も巨億の富も  
役に立たない、不幸や災難は、地位や富に遠  
慮ほしくない

## 不運の根を切る

苦心して育てた人が恩知らずになる、それをうらむ  
しかし、その恩知らずが出来てこそ、自分の過去の恩  
知らずの罪ほろぼしになるのだ、こゝろ考えよ  
自分の不徳を教えを頂いた有り難さを知り、わび  
る、この心が不運の根を切る道である

# 心の無駄

取越苦勞・先案じいらだら・あせり・

心を無駄にすることは、自分の命を縮めて一生を削るようなものである

# 明るい心

勤勉・努力・誠実のつみ重ねは、明るい心  
を生む。わがまま・勝手・なまけそのつみ重ね  
が暗い心・冷たい心・いらだつ心になる。

書くこと、説くこと、悟すこと、  
それは第一・第二・第三の問題である  
書く生き方・書ける生き方、  
悟す生き方・悟せる生き方、  
これが重要である